

FURUTECH

Review

Audio Accessory

2022 WINTER 183 - JAPAN



最上級のNCF電源端子でブラッシュアップを実現 魅力の音で存在価値をさらに高めた 待望の最高峰電源ケーブルNCFバージョン

優れた電源パーツ製品を豊富にラインアップするフルテック。独自の工夫と音質向上技術による改善で、次々と新たなる人気製品を生み出すなか、注目株はやはり「NCF」関連モデルといえるだろう。ここでご紹介するのは、最上級のNCF電源端子を採用した、待望の完成品電源ケーブル。重厚な作りと音、存在感は、最高峰にふさわしい内容として評価を獲得し、AAEX2022でグランプリを受賞した。満を持して送り出された自社ブランドの完成品ならではの魅力を、3人の審査員がご報告する。

Photo by 田代法生

 NCF®



Grand Prix



FURUTECH Powerflux NCF-18

¥327,800 / 1.8m(税込)

電源ケーブル

Specifications

●端子の電極部：高伝導性を有する純銅にロジウムメッキ
●プラグボディ部：特殊素材NCF調合●ケーブル導体：
α-導体(68本／0.127 mm²)⁷×3、外径：2.8 mm●ケーブル絶縁体：特殊PE(赤、黄、自然色)、外径：5.4 mm●ケーブルシース：1→RoHS指令適合カーボンパウダー調合柔軟性PVC(内層)、2→RoHS指令適合柔軟性PVC(外層)、外径16.5mm●ケーブルシールド部：
0.12mm² α-導体組り合わせ編組●ケーブル仕上がり外観：ナイロン糸編組、外径約17.5 mm●※長さの特注品は別途見積り

フルテックの新しいフラッグシップの電源ケーブル。「オーディオアクセサリー銘機賞2022」のグランプリを受賞したのも納得できる内容と音質だ。

まず、採用している電源プラグのFI-50M NCF(R)とI ECコネクタI FI-50 NCF(R)。内部の樹脂の部分に、いずれも特殊素材NCF(ナノ・クリスタル・フォーミュラ)を採用し、制振や静電気に対する能力を高めている。ハウジングはステンレス合金からの削り出しで、その外側はシルバーカーボンファイバーで仕上げた3層構造。ケーブルクラシブ部分にも特殊金属を採用し、ここでも制振効果を高めている。電極部は純銅にロジウムメッキ処理を施した上で、αプロセス処理。不要な輻射ノイズを抑えるアースジャンパーも装備されている。徹底的だ。

ケーブル部の導体は、高密度のOCC素材に超低音処理と特殊電

徹底的にいえる対策の数々
重厚な作りと質感も頼もしい

フルテックの新しいフラッグシップの電源ケーブル。「オーディオアクセサリー銘機賞2022」のグランプリを受賞したのも納得できる内容と音質だ。

まず、採用している電源プラグのFI-50M NCF(R)とI ECコネクタI FI-50 NCF(R)。内部の樹脂の部分に、いずれも特殊素材NCF(ナノ・クリスタル・フォーミュラ)を採用し、制振や静電気に対する能力を高めている。ハウジングはステンレス合金からの削り出しで、その外側はシルバーカーボンファイバーで仕上げた3層構造。ケーブルクラシブ部分にも特殊金属を採用し、ここでも制振効果を高めている。電極部は純銅にロジウムメッキ処理を施した上で、αプロセス処理。不要な輻射ノイズを抑えるアースジャンパーも装備されている。徹底的だ。

ケーブル部の導体は、高密度のOCC素材に超低音処理と特殊電



Text by
鈴木 裕
Yutaka Suzuki



磁界処理を行つたもの。絶縁材はカーボンパウダーを調合したPVCによる2重シース構造。外観の特徴となつてゐるケーブル中間部のバーツは、電磁ノイズ対策のG C-303EMI吸収剤を装着し、内部には不オダンパー技術を投入。電磁的、振動的な役割を持たせている。仕上げはナイロン編組で、ケーブル外径としては約17.5mm。手に持つと、みつりとした質感の重めの感じが頼もしい。

低重心でスケールが大きく しつとりして実在感ある表現

試聴テストは拙宅のシステムでCDプレーヤーを使つて行つたが、一聴して高いエネルギー感やスケール感を持つてゐる。特に編成の大ないオーケストラを再生するのに適性がいいが、バンド編成のポップスでも細部のサウンド作りなどがよく聽こえてきて発見が多い。ノイズフロアは相当に静かで、透明な空間自体にしつとりとした感じがあり、そこに大きめの音像が定位してくる。反応は速めだが音の重心は低く、低音感は十分にある。エリック・クラプトン『アンブレグド』でのオーディエンスひとりひとりの拍手は実在感が高く、音としてはタフな感じ。コントラ

ストはシャープさも強めだが、それらがほどほどとのところでコントロールされているところに、NCFを採用している効果を強く感じる。

ひと言で言って立派な音がする電源ケーブルで、このブランドの持つている技術を存分に投入。フラッグシップの名にふさわしい作りと音だ。

Text by 生形三郎
Saburo Ubukata

振動とノイズを幾重にも対策 フラッグシップの堂々たる音質

フルテックのフラッグシップ電源ケーブルが、NCFバージョンになつて新登場した。端子にはメカニカルハイエンド電源ケーブルにもこぞつて採用されている同社最高級品「F-I-50M NCF (R)」と「F-I-50 NCF (R)」を使用。ステンレス合金削り出しハウジング部、シルバーカーボンファイバーの外装部、そしてボディ部はナノ単位のセラミックパウダー、カーボンパウダー調合の人気アクセサリーNCFシリーズでおなじみ特殊素材「NCF」を配合して制振効果と静電効果を

追求、ノイズ低減を図つた入念な3層構造である。電極部は、純銅にロジウムメッキ処理をした上で、Fを採用している効果を強く感じる。

ケーブル素材は、αプロセスを施した高密度OCC導体による同社おなじみのα-導体。信号伝送の要を固めるとともにカーボンパウダー調合のPVCを絶縁材に使用した2重シースとするなど、徹底したノイズと振動対策でハイスピード化を追求。ケーブル中間部には、プラグ部と同じシルバーカーボンフィニッシュを纏つた電磁ノイズ対策GC-303EMI吸収材を装着し、音質に加えて高級感溢れる外観も実現している。

音楽が明瞭に浮かび上がり 充足感に満ち溢れる愉悦の音

そのサウンドは、一聴して充足感に満ち溢れる音楽の愉悦に支配された。ひと言で表現すれば低重心かつ高コントラストで、音楽が心から高コントラストで、音楽が明瞭に浮かび上がるのだ。ベースやバスドラム、グラックサなど、低音楽器は量感十二分で低域レンジも深く沈み込みながら、輪郭が極めて明瞭で筋肉質な引き締まりを持つてゐるが、特筆に値する。この充足感溢れるバランスは、た

いへん魅力的だ。さらに中域、高域側の表現は、とにかく音楽の背景が静かに澄み渡り、演奏のディテールや音色の質感が面白いほどに浮かび上がつてくる。楽器の音像や演奏空間の音場の描写が不鮮明にならず、力強くギュッと凝縮された濃い音で立ち上がりつてくるのだ。余韻の表現もひとときわタイトに締まつてゐる。

これらサウンドはNCFをはじめ、先述した幾重にも施された振動対策とノイズ遮断構造による恩トに締まつてゐる。

これらサウンドはNCFをはじめ、先述した幾重にも施された振動対策とノイズ遮断構造による恩

この使いこなしの妙は、やはり開発メーカーならではのものだと実感した。とりわけ充実したボトムを得つつ、音楽へのフォーカスをグッと向上させたいポイントに使われるが、この使いこなしの妙は、やはり開発メーカーならではのものだと実感した。とりわけ充実したボトムを得つつ、音楽へのフォーカスをグッと向上させたいポイントに使うと好適だろう。Power flux NCF-18は、ハイエンドな電源ケーブルを導入検討する上で必聴の存在である。

オーディオアクセサリー銘機賞
審査委員長

福田雅光 Masamitsu Fukuda



広帯域で純粹で滑らかな質感 伸びやかな声楽も大きな魅力

NCFを採用する、最上位電源プラグとIECコネクターでバージョンアップされた、最高峰モデル。ケーブル部も同社の最上位を採用。NCFの効果は、SN比の向上や中高音の冴えた音質に作用している。透明感のある広い帯域の表現力を基調にしながら、滑らかな輪郭や、雰囲気に柔らかさを持つ。ピュアでまろやかに帯域を広げ、伸び伸びとしていて制限される要素がないのがいい。特に、声楽系の表現力を重視すると大きな魅力を感じられる。中低音や低音は弾力感のあるエネルギーで構成され、ボリュームがあって厚い。高音は刺激がなく、きめ細やかで滑らかに流れてくる。究極の真空管アンプの魅力や、高純度なA級アンプの音を追求する用途に、多くの魅力的な要素を持つ貴重な電源ケーブルである。

追求、ノイズ低減を図つた入念な3層構造である。電極部は、純銅にロジウムメッキ処理をした上で、Fを採用している効果を強く感じる。

ひと言で言って立派な音がする電源ケーブルで、このブランドの持つている技術を存分に投入。フラッグシップの名にふさわしい作りと音だ。

追求、ノイズ低減を図つた入念な3層構造である。電極部は、純銅にロジウムメッキ処理をした上で、Fを採用している効果を強く感じる。

追求、ノイズ低減を図つた入念な3層構造である。電極部は、純銅にロジウムメッキ処理をした上で、Fを採用している効果を強く感じる。

追求、ノイズ低減を図つた入念な3層構造である。電極部は、純銅にロジウムメッキ処理をした上で、Fを採用している効果を強く感じる。